

令和6年度

事業報告書

特別養護老人ホーム談話館  
老人短期入所事業談話館  
老人デイサービス事業談話館  
居宅介護支援事業談話館

社会福祉法人やまびこ

## 目 次

I 概 要.....	1
1 20床増築棟完成.....	1
2 利用状況.....	1
3 感染症対策.....	1
4 施設運営.....	2
5 評議員会、理事会及び監事監査の開催状況.....	3
6 職員の配置状況.....	3
7 実地検査.....	4
8 各種委員会.....	5
II 各事業の実施状況.....	6
1 各部門の概況.....	6
(1) 入所部門.....	6
(2) 短期部門.....	8
(3) 通所部門.....	9
(4) 居宅介護支援部門.....	10
2 栄養・食事サービスの提供.....	10
3 健康管理、感染症対策の実施.....	11
4 主な行事と地域交流.....	13
(1) 主な施設内行事.....	13
(2) 地域との交流.....	14
III その他の事業運営.....	14
1 苦情及びヒヤリ・ハット等の対応状況.....	14
2 身体拘束の廃止及び虐待防止の取り組み.....	15
3 防災対策の実施.....	15
4 情報の公開、提供、情報交換、情報取得.....	15
(1) 「談話館ニュース」の発行等.....	15
(2) 保護者との意見交換会.....	15
(3) 職員研修.....	16

# I 概要

## 1 20床増築棟完成

令和5年9月杭打ち工事から始まり躯体工事、外構工事、内装・電気・電話工事等順調に進み、令和6年5月に完成した。その後、食堂、各居室へのベッド等調度品を揃え9月9日茨城県へ増床に係る届出を行った。

食堂、廊下及び居室に木材を多用し木のぬくもりを感じ取れ、窓も開口部が高く明るい施設となっている。また、キッチンは、利用者とのコミュニケーションを取りやすい対面式となっている。

年度後半にかけて、待機者への入居案内及び居宅介護支援事業所への広報に努めたが、年度末においても空室が目立つ状況である。折しも経済状況が物価高騰の影響から生活費が増大するなか施設入居に係る費用の負担が重くなってきていると思われ、近隣施設においても費用が比較的安価な多床室への入居を希望する方が多く見受けられる。

利用者確保が厳しい環境となってきているが、施設の健全な運営に利用者の確保は欠かせないところであるので、系列の老健プロバンスとの連携、石岡市内の居宅介護支援事業所への積極的なアプローチを行い入居者の確保に努めていく。

## 2 利用状況

施設の利用状況は、入所部門は81.3%、短期部門84.6%、通所部門71.5%であった。

昨年度の入所部門は93.1%、短期部門91.2%、通所部門73.3%と比較すると、入所部門11.8%減少、短期部門3.4%減少、通所部門1.8%減少であり、いずれも下回る結果となった。

事業活動における収入は、361,628千円で昨年度349,540千円から3.5%、12,088千円増加した。入所部門の施設介護料17,264千円増加となった。短期部門及び通所部門については居宅介護収入が2,494千円減少であった。支出は、事業活動に係る支出額が434,036千円で昨年度の392,078千円から10.7%、41,958千円の増加であった。

入所部門において、令和6年10月から定員20床増加したことから前年度に比べ利用者延人数が700人余増えたことが増収の要因となった。また、支出は増床のための建物の減価償却費及び消耗器具・備品の支出増によるものであった。

## 3 感染症対策

令和5年5月、新型コロナウイルスが季節性インフルエンザと同じ5類に移行された。

当館においては、高齢者が感染した場合に健康リスクが高いことから5類移行後も感染予防に努め、館内でのマスク着用・手指消毒等感染対策を実施した。

しかしながら、8月にデイサービス利用者2名が新型コロナウイルス感染したことから2日間休業した。その後も職員の感染があったが施設におけるクラスターは避けられた。

1年間の新型コロナウイルス対策において、外出できない利用者には、気分転換を図るため日光浴をしていただいた。猛暑となった夏には、熱中症対策を十分に執り快適に過ごして頂けるよう配慮した。また、家族等の参加を見合わせることにしたうえで、職員が中心になり夏祭りや長寿を祝う会などを開催した。

職員の健康管理においても朝夕2度の体温測定を励行するとともに、感染防止を心掛けた行動をするように指導を行った。手洗い励行、手指消毒、自宅内も含めたマスク着用、アルコール消毒、食事時の距離の確保・黙食励行及び生活面全般に関して規範の確立等徹底した感染予防対策を行った。

#### 4 施設運営

介護サービスは、利用者のADL（日常生活動作）、心身の状態及び疾患の状況などに日頃から留意して利用者の生活状況に合わせた24時間シートに基づく介護支援に努めた。介護施設におけるICT（情報通信技術）化の推進が進んでいるところであり、当施設においても介護記録システム（小型パソコン及びタブレットによる記録）が定着してきており業務の効率化が図られている。

事故防止対策としては、入所及び短期部門では居室やリビングでの転倒、転落事故は引き続き多発しており昨年度より増加した（転倒、R6：58件、R5：55件、転落、R6：26件、R5：19件）。また、誤薬や服薬漏れ等が多数発生したため看護・介護間の連携を密にするとともに管理の徹底を図っている。（R6：53件、R5：30件）

このため事故発生後はヒヤリ・ハット報告書の提出を義務付けるとともに、安全対策委員会において事案ごとに発生原因、対応状況などを詳細に分析・検証して、転倒・転落事故の未然防止、服薬管理の徹底等への取組みを行った。

人事管理については、職員募集のため管内高校を訪問し就職案内を行ったが新卒者の確保には至らなかった。

また、中途採用職員6名（正職員4名、非常勤職員2名）を採用した。

良質な介護サービスを提供するうえで不可欠である職員の育成、資質の向上のため、職場内研修計画に基づき定期的に施設内研修会を開催した。

職員の定着支援については、正しい業務能力評価と健康管理に意を注いだ。さらに、処遇改善加算を申請して職員に支給したことから全体的な給与水準の向上が図られた。

## 5 評議員会、理事会及び監事監査の開催状況

区 分	開 催 日	付議事項
第1回理 事 会	令和6年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度事業報告</li> <li>・ 令和5年度収入支出決算報告</li> <li>・ 給与規程の改正</li> <li>・ 定款の一部変更</li> <li>・ 設備資金の借入</li> <li>・ 担保の提供</li> <li>・ 増築工事の追加工事</li> </ul>
第1回評議員会	令和6年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度決算認定</li> <li>・ 定款の一部変更</li> <li>・ 担保の提供</li> </ul>
第2回理 事 会	令和6年10月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度第1回収入支出補正予算</li> <li>・ 運転資金の短期借入</li> <li>・ 令和6年度上半期事業運営報告</li> </ul>
第3回理 事 会	令和7年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度第2回収入支出補正予算</li> <li>・ 令和7年度事業計画</li> <li>・ 令和7年度収入支出当初予算</li> <li>・ 就業規則の一部改正</li> <li>・ 施設長の任免</li> <li>・ 石岡市一般監査結果</li> </ul>
第2回評議員会	令和7年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の任免</li> </ul>

## 6 職員の配置状況

種 別	配置基準	配置数	退職者	入職者
施 設 長	1	1	1	1
事 務 員	2	2		
生活相談員	2	2		
介護支援専門員	2	3	1	1
介護福祉士等	3.2	4.2	1.0	6
看 護 師	3.2	7	1	1
管 理 栄 養 士	1	2		
医 師（嘱 託）	0.2	0.2		
管 理 当 直 員	—	3		
運 転 手	—	2	1	1
計	43.4	64.2	1.4	10

※ 配置数は、令和7年4月1日現在、退職者・入職者は令和6年度中

※ 非常勤職員 10名（介護福祉士等4名、看護師1名、管理当直員3名、運転手2名）

## 7 実地検査

令和7年1月24日石岡市による法人検査受検

定款及び役員報酬等の各規定について、平成29年国が定めた改正内容に沿うように改めるよう口頭指導を受けた。

## 8 各種委員会

表 A 各委員会

会議名	開催日	回数	内容
運営会議	毎月 第1水曜日	12	施設運営上の全般的問題、課題対応、適正適切な施設運営の方策
感染症対策委員会			新型コロナウイルス感染対策 感染症の予防、拡大防止への対応 ノロウイルス及びインフルエンザ対策
安全対策委員会			施設内事故、ヒヤリ・ハット事例の検証 事故の未然防止と適切な対応方法
入所検討委員会			施設利用申込者の入所適否の判定
給食会議			食事提供上の課題 よりよい食事の提供
サービス担当者 会議	毎月 第3日曜日	12	利用者の介護サービス全般について 効果的かつ実現可能なサービスの提供、確保
褥瘡対策委員会	毎月 第4木曜日	12	褥瘡について、検討・協議し適正な処遇の確保 に努めた
身体拘束等適正化委員会	随時開催	12	身体拘束の必要性の有無、その適否
ユニットリーダー 会議	毎月 第4木曜日	12	利用者の処遇のあり方等について検討、協議を 行った。

## Ⅱ 各事業の実施状況

### 1 各部門の概況

#### (1) 入所部門

利用状況表 1 入所

(単位：人，%)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用実績	1,413	1,456	1,422	1,482	1,487	1,478
利用率	94.2	93.9	94.8	95.6	95.9	98.5

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,491	1,468	1,528	1,515	1,405	1,646	17,791
68.7	69.9	70.4	69.8	71.7	75.9	81.3

年間利用率は81.3%で昨年度93.1%に対して11.8%減であった。利用率の低迷は、昨年度と比較して本格的に増床棟が入所可能となった10月以降に入所者数が伸び悩んだことによるものである。

利用者の平均年齢は91.2歳【男性88.4歳、女性92.5歳】で昨年度の90.3歳【男性84.3歳、女性92.1歳】から0.9歳上回り91歳を超えた。要介護度別状況比率は、要介護5が17名(31.5%)となり昨年度の13名(27.7%)を上回った。平均在籍期間は、約2年2月で昨年度の2年7月を5か月下回った。

本年度の新規入所者27名をその経路別にみると、家庭から11名(40.7%)病院から3名(11.1%)、施設から13名(48.2%)となっている。また、退所者21名は死亡6名、入院14名であった。

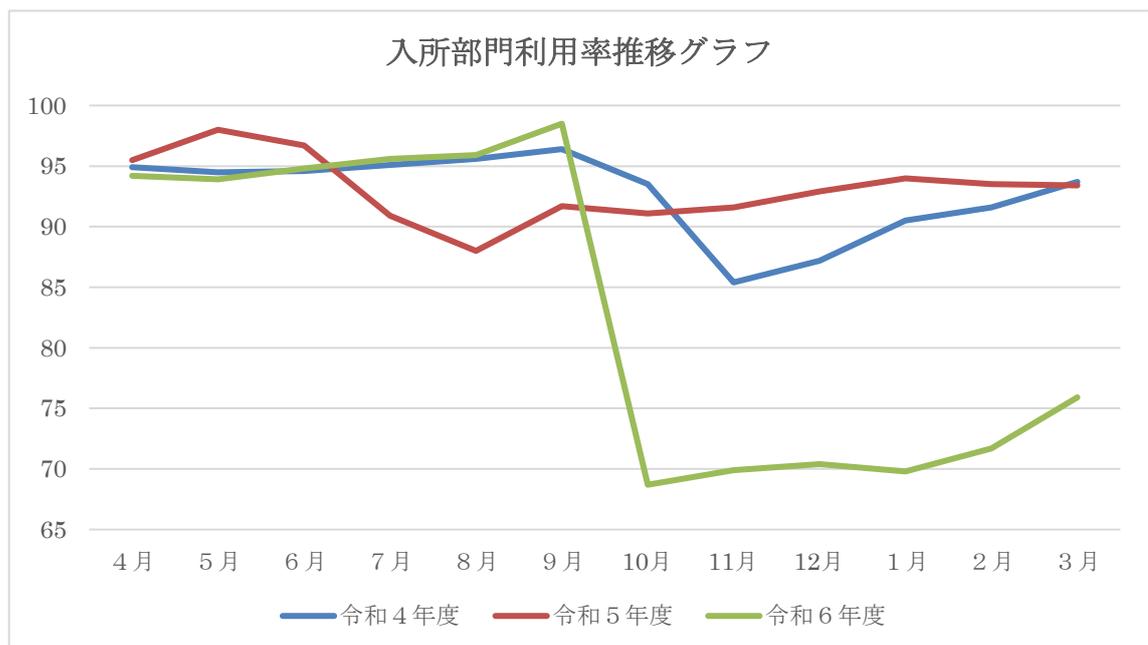


表 B 生活日課

利用者毎の生活状況は24時間シートにより本人の身体状況、要望等を踏まえているところであるが、基本的な生活パターンは表のとおりである。

時 間	内 容
6:00	起床、洗面（入浴予定者検温）
7:00	ベッドメイキング、お茶、朝食準備
8:00	朝食、片付け、口腔ケア
9:00	リハビリ体操、機能回復訓練
10:00	お茶、部屋清掃
11:30	昼食準備
12:00	昼食、片付け、口腔ケア
14:00	入浴、回診
15:00	お茶、おやつ
16:00	レクリエーション
17:30	夕食準備
17:45	夕食、片付け、口腔ケア
19:00	イブニングケア（歯磨など）
21:00	消 灯

表 C 週間、月間スケジュール

項 目	内 容 ・ 時 期			
入 浴	週2回、利用者の状態によっては清拭			
リネン交換	包布（週1回）、布団・毛布（年1回）			
散 髪	月2回（希望者のみ）			
理 美 容	月1回（希望者のみ）			
クラブ活動	書 道	第2水曜日 1:30 ～2:30	茶 道	第2木曜日 1:30 ～2:30
	軽 体 操	第3水曜日 1:30 ～2:30	園 芸	第1木曜日 1:30 ～2:30
	フラワー アレンジメント	第4木曜日 1:30 ～2:30		
誕 生 会	月1回			
買物ツアー	随 時			
レクリエーション	随 時			

## (2) 短期部門

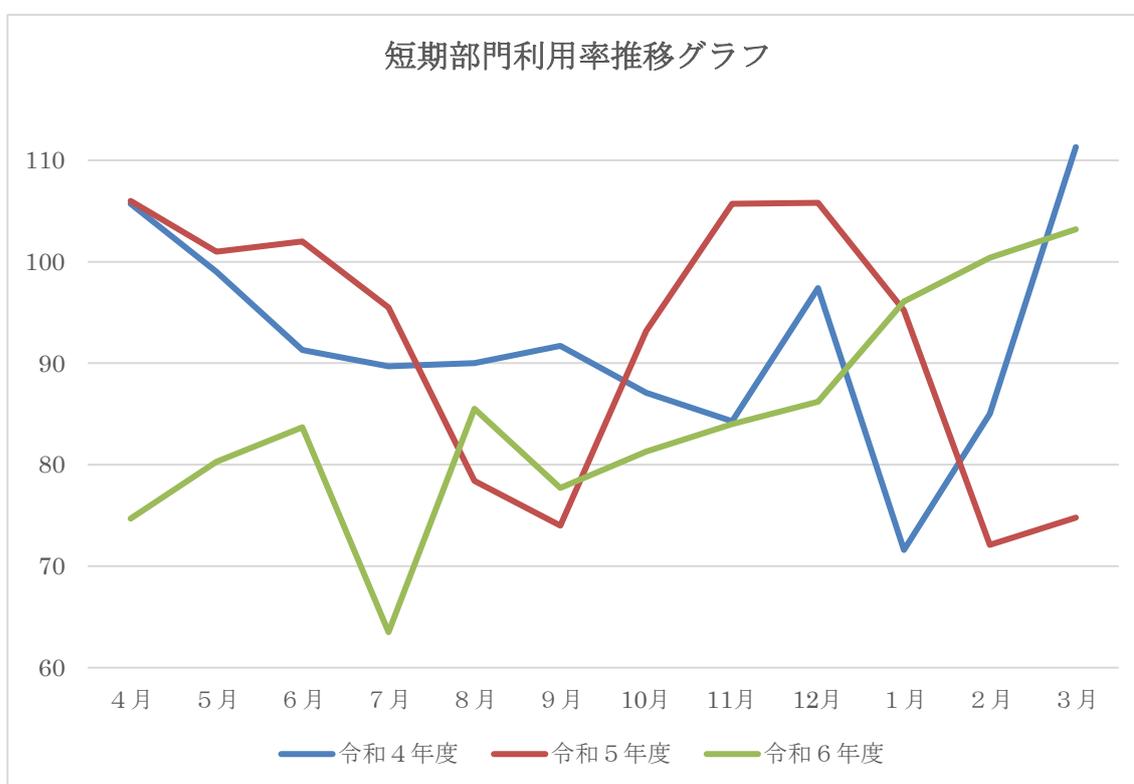
利用状況表 2 短期

(単位:人, %)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用実績	224	249	251	197	265	233
利用率	74.7	80.3	83.7	63.5	85.5	77.7

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
252	252	267	298	281	320	3,089
81.3	84.0	86.2	96.1	100.4	103.2	84.6

年間利用率は84.6%であり、昨年度91.2%に対して6.6%減となった。



### (3) 通所部門

利用状況表 3 通所

(単位:人, %)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用実績	542	574	525	574	481	533
利用率	69.5	70.9	70.0	70.9	64.1	71.1

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
606	593	522	512	532	592	6,586
74.8	76.0	69.6	71.1	73.9	75.9	71.5

年間利用率は71.5%であり、昨年度73.3%に対して1.8%減であった。

利用者数の減少は、8月に新型コロナウイルス感染者が発症したことから、感染拡大防止のため2日間の休業をしたことによる。

デイサービス利用者の生活能力の向上を目指して、個々の身体機能、活動能力に合わせたアクティビティの提供に努めた。具体的には、グループ体操で手足を動かすもの、個々の興味に合わせた手芸等、手先を使い右脳の刺激をするもの等を実施した。これら遊びのリハビリテーションは単なる訓練では出てこない残存機能を、遊びながら引き出すという効果が認められた。

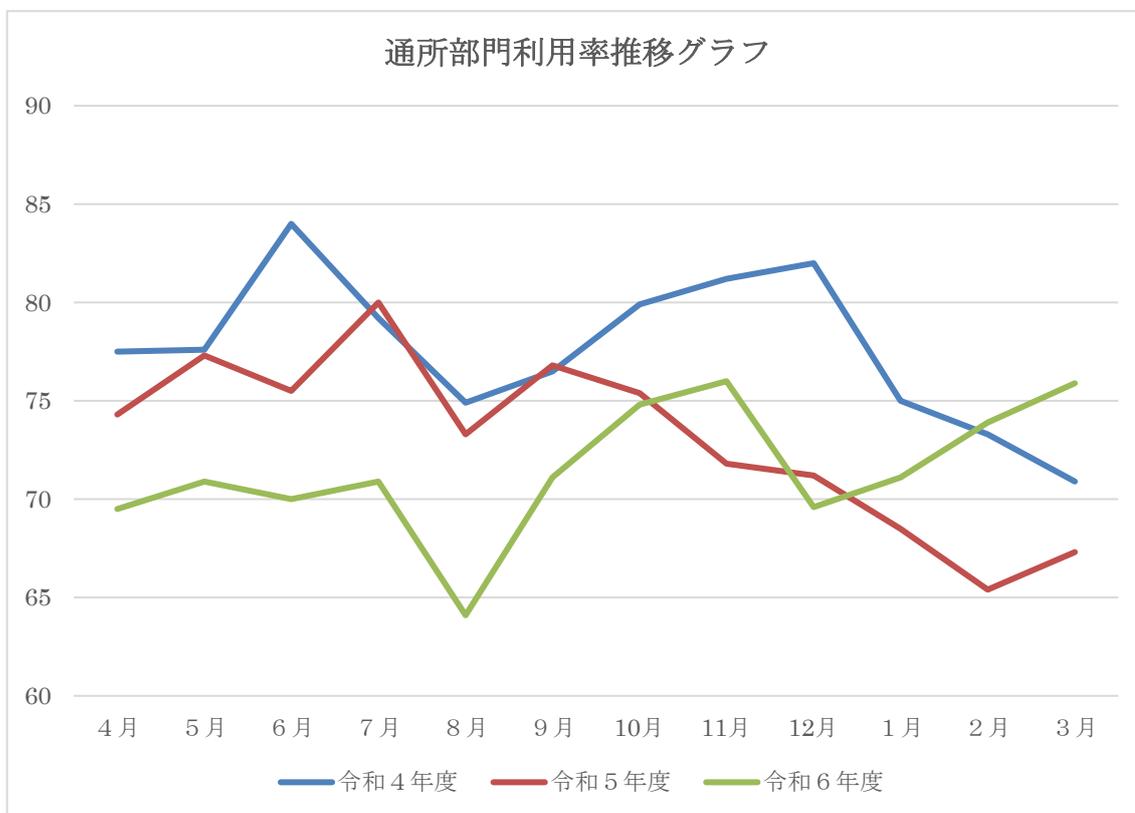


表 D 生活日課

時 間	内 容
8:40	送 迎
9:30	検温、血圧測定、お茶
10:00	入 浴
11:30	口腔体操
12:00	昼 食
13:00	リハビリ、機能訓練及びレクリエーションアクティビティ
14:30	お茶、おやつ
15:30	帰りの会（歌、体操、短歌の朗読等）
16:00	送 迎

随時：誕生会等

#### （４）居宅介護支援部門

ケアマネージャー２名体制で、要介護・要支援状態にある利用者の心身の状態や生活状況を勘案し、利用者及び家族の意向を尊重したうえで住み慣れた地域で自立した生活ができるように計画書を作成し支援を行った。

また、地域包括支援センターからの介護予防受託を受け、地域包括支援センターと協働し支援を行った。

専門的な知識の習得及び実践的な技術等を向上させ業務に生かすために、法定外研修・地域ケア会議などに参加しスキルアップに努めた。

## 2 栄養・食事サービスの提供

食事の時間に、ユニットへ伺い利用者の喫食状況、利用者からの聞き取りから嗜好や食事の姿勢、心身の状況を確認している。季節を感じる食材や行事食をメニューに取り入れ、盛り付けや食事の温度に注意を払い、利用者に美味しい食事の提供に努めている。

利用者個々の心身の状況に応じた栄養ケア計画を作成し、それに基づきバランスのとれた食事の提供を行い、楽しく健康的な食生活が送れる様に配慮した。

おやつの提供は、利用者の嗜好、栄養量を補うメニューとし、季節の果物や楽しみの一環として行事食デザートを提供した。

#### （新型コロナウイルス対策及びその影響）

利用者、職員の新型コロナウイルス感染により、配膳時間の変更、食器、食事用具を使い捨て食器に切り替えた。感染者発生のためユニットを閉鎖した場合は、感染利用者、担当職員、厨房職員との接触を控えるため、食事を配膳する場所の変更などで対応した。

表 E 給与栄養量 (1 人一日当たり)

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 質 (g)	カルシウム (m g)	ビタミン C (m g)	鉄 (m g)
給与栄養 目 標 量	1,600	60	40	600	100	6.3
給 与 栄 養 量	1,617	58.7	43.2	592	92	6.8

※カルシウムやビタミンCについては、特に不足しがちなので食事やおやつに野菜、果物及び乳製品を積極的に取り入れている。

### 3 健康管理、感染症対策の実施

利用者の健康管理については、常に血圧、体温のチェックを行い健康状態の的確な把握に努めた。さらに、嘱託医、看護師及び介護職員との連携を密にし、異常の早期発見、疾病の予防に努めた。また、容態急変時に備えAED(自動体外式徐細動器)を1台配備している。

緊急時は、豊後荘病院と緊密な連携のもと適切な対応に努めた。利用者の健康に関することについては、常に保護者との情報交換に努め緊急時は迅速に保護者に連絡を行った。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染予防のため毎月定例的に施設長、看護主任等で構成する感染症対策委員会において市内の感染状況、近隣施設等の状況把握に努め職員及びデイ利用者の健康状態を把握して感染した職員、濃厚接触者となった利用者や職員が発生した場合は利用停止や出勤停止の措置を行い感染拡大防止に努めた。

職員の健康管理は、定期健康診断を年1回、夜勤を行う職員は年2回(腰痛検査を含む)を実施し、その診断データに基づき、嘱託医、看護主任、管理栄養士が適切な指導助言を行った。

表 F 嘱託医師回診

種 類	医師名	曜 日	時 間
内 科 回 診	森 博昭	毎週火曜日	10:30~12:30
精神科回診	星 真由美	毎週金曜日	13:30~15:30

表 G 利用者の主な疾病状況

疾 患 名	患者数
脳 血 管 疾 患	7
心 疾 患	7
肺 疾 患	1
高 血 圧	21
糖 尿 病	6
腎 疾 患	1
精 神 疾 患	6
認 知 症 (脳血管性を除く)	32
骨 粗 鬆 症	5
パーキンソン病	3
前立腺疾患	4
合計【重複含む】	93

表 H 利用者健康診断

実 施 時 期	令和6年10月7日～21日(うち6日間)
実 施 医 療 機 関	豊後荘病院
検 査 項 目	胸部レントゲン、血液検査、尿検査、歯科検診

表 I 利用者インフルエンザ予防接種

実 施 時 期	令和6年11月6日,13日
実 施 医 療 機 関	豊後荘病院
摂 取 対 象 者	接種について保護者の同意を得て利用者全員

表 J 職員健康診断

実 施 時 期	令和6年5月13日～22日のうち6日間(64名)
	令和6年11月11日～14日(夜勤職員23名)
実 施 医 療 機 関	豊後荘病院
検 査 項 目	胸部レントゲン(第1回のみ)、心電図、血液検査、 聴力検査、メタボリックシンドローム検査、尿検査

表 K 職員インフルエンザ予防接種

実 施 時 期	令和6年11月5日～16日のうち6日間
実 施 医 療 機 関	豊後荘病院

利用者 新型コロナウイルスワクチン接種【8回目】

実 施 時 期	令和6年11月20日
実 施 医 療 機 関	豊後荘病院
摂 取 対 象 者	接種について保護者の同意を得た25名

#### 4 主な行事と地域交流

##### (1) 主な施設内行事

春秋のドライブ、季節ごとの行事を職員による手作りのイベントで楽しんでいただいた。

表 L 実施行事【入所及び短期】

実施月	行事名	参加者数	内容
4月	花見会(お弁当) ドライブ(ダチョウ王国)	50 9	各ユニット桜を観ながら お弁当を食べる ダチョウ見学
6月	ドライブ(笠間道の駅、小 町の里、愛宕山)	15	近隣施設等へドライブ
7月	ドライブ 豊後荘病院盆踊り	2 7	近隣施設へドライブ 盆踊りを見学
9月	室内ぶどう狩り	37	ぶどう園のように上から つるしたブドウを収穫
	花火大会	17	施設玄関前で花火
	長寿を祝う会	39	ちゃんちゃんこを着て長 寿を祝う
11月	ドライブ(菊祭り)	12	菊祭り見学
12月	クリスマス会	47	クリスマスを祝う
2月	節分、バイオリン鑑賞	49	豆まき、音楽を楽しむ
	計	284	

※上記以外にユニットごとの誕生会を開催した。

表 M 実施行事【通所】

実施月	行事名	参加者数	内容
4月	桜撮影会	50	敷地内桜の木の下で記念撮影
5月	筑波山遠足	12	レストランで食事、新緑のドライブを楽しむ
6月	新緑の茶会	22	お茶を嗜む
7月	夏祭り	30	盆踊り、神輿担ぎ、ビンゴゲーム実施、お好み 焼き、かき氷を提供
	七夕飾り制作	50	折り紙で七夕飾り制作
8月	野菜収穫	15	中庭の野菜収穫
	フルーツバイキング	30	夏果物のバイキング

9月	長寿を祝う会	25	長寿を祝い表彰、記念品の贈呈
11月	文化祭	30	生け花とお茶を嗜む
12月	クリスマス会	30	カラオケ歌合戦、サンタさんからのプレゼント贈呈、記念撮影
1月	ならせ餅づくり	20	紅白のお餅を丸め櫓の木につける
2月	節分の会	23	無病息災を願い豆まき
3月	お花見ドライブ	50	愛宕山ドライブ
	計	387	

※誕生会（随時）

※フットケア、脳トレ（塗り絵、パズル、漢字、計算、クイズ）、棒体操、ラジオ体操、リズム体操、オセロ、かるた、すごろく、絵合わせゲーム、トランプ、バランスゲーム、輪投げ、風船バレー、カラオケ、散歩、園芸、工作、短歌、絵画などを実施した。

## （2）地域との交流

第5類感染症となった新型コロナウイルスであるが、高齢者への感染リスクを考慮し外部の接触を避けるため、従来から行ってきた地域との交流事業はすべて中止した。

### 表 N ボランティア受入

実績なし

### 表 O 実習生受入

実績なし

### 表 P 地域行事参加

実績なし

## Ⅲ その他の事業運営

### 1 苦情及びヒヤリ・ハット等の対応状況

施設サービス全般に関する利用者及び保護者からの苦情については、ご意見箱の設置（2か所）や苦情処理対応相談員を配置して対応している。

本年度は苦情件数9件であった。

主な内容は、①入浴の際、利用した浴槽に垢が浮いていた。個浴の場合、毎回入替はしていないが、汚れがないか確認し随時清潔に保つようにした。

②デイサービス利用の際、入浴介助中に左膝下を場所は明確でないがぶつけてしまい傷ができてしまった。当日施設から説明がなかったことへの苦情があり、家族への報告が漏れてしまったことを謝罪した。

③特養利用者の右目の上の傷について、原因、対応した内容を家族に曖昧な説明を行った。どのようにして傷ができたかは不明であったが、家族への丁寧な説明及び医療機関への受診が必要なケースであった。深く謝罪し転倒防止等に努めることとした。

職員からのヒヤリ・ハット及び事故発生の報告については、令和6年度報告件数229件で昨年度の200件から29件、14.5%増であった。

内訳をみると、転倒が58件と昨年度の55件から3件増加している。また、外傷が64件と昨年度の53件から11件増であった。

これらの事故防止のために安全対策委員会において、事故の分析、検証、対応策の検討・協議を行った。

## 2 身体拘束の廃止及び虐待防止の取り組み

身体拘束は、人権擁護の観点から問題があるだけでなく利用者のQOL（生活の質）を根本から損なう危険を有している。当施設においても身体拘束ゼロを目指し、身体拘束等適正化委員会を随時開催し検討・協議を行っている。

## 3 防災対策の実施

消防計画に基づき、火災や地震その他の災害の予防及び利用者の生命と身体の安全確保を図るため、避難訓練、消火訓練及び夜間想定訓練を実施した。

表 Q 消防訓練

実施日	訓練内容	参加者
9月19日	火災通報、避難、消火訓練	利用者27名 職員14名
12月10日 夜間想定	通報、避難、職員非常招集	利用者53名 職員5名

## 4 情報の公開、提供、情報交換、情報取得

### (1) 「談話館ニュース」の発行等

館内行事における利用者の生活状況を情報誌「談話館ニュース」で年4回報告した。また、ホームページにより、施設の概要、利用手続き、利用料金等について広く情報提供し施設利用の案内を行った。

### (2) 保護者との意見交換会

開催なし

### (3) 職員研修

デイサービス職員の相談援助業務及びユニット職員の感染症対策の充実のため研修に派遣した。また、職場内研修は従来どおり実施した。

表 R 職場内研修

実施日	研修内容	参加者
4月18日	褥瘡予防対策	16
5月9日	職員の行動規範（ハラスメント対策、コンプライアンス、プライバシー保護）	14
5月16日	身体拘束廃止	11
6月13日	感染症まん延防止対策	回覧のみ
6月20日	入浴介助	12
7月11日	医療機器の取り扱い（喀痰吸引と経管栄養を含む）	10
7月18日	事故発生時の応急処置	7
8月29日	苦情処理と人権擁護、虐待防止	5
9月19日	災害時の対応（消防訓練研修）	14
10月31日	認知症ケア	11
11月21日	ヒヤリ・ハット・事故防止対策	9
1月16日	虐待と身体拘束ゼロに向けた取り組み	9
2月10日	ターミナルケア（精神的ケア）・死後処置	12
2月20日	栄養管理と食中毒感染予防、安全対策	7
3月13日	褥瘡予防対策（R6年度ケース検討）	9
3月27日	口腔ケア	13
	計	159

表 S 外部研修

実施日	研修名	日数/回数	参加者
5月10日	相談援助業務担当者研修	1	1
8月6日	高齢者施設向けの感染症対策に関する研修	1	2
2月21日	利用者の望む医療・ケアを叶える支援研修	1	1
	計	3	4